

蛇の目がさ

玄関から見える景色は夏の子がしど

草々に子いゝておじいさんが小さく十年ほど

咲いてしゝ

あさがおはいきおいはよいか垣根とまきついで

たつる上又まきついで葉はしげりたしげりて

い

いはいそそ気であでか介しはいくらうい

でも水たまりが大きくなつていゝ

昨夜の雨だ

しとしとしふり水水たまりを作つてしそつた

そんな時蛇の目がさかいいい

かさが下まきてめねない

かかり前デパートで買った紫色の蛇の目

かささ太印としそつておいた

白手んしたいかさだ

あつ時くるくフフんだ紙とあけてきた

そこはあつのはがさくの茶色のかさだ

紫色はなくなつてしそつた

残念だ

それ以来 蛇の目がさへあつていない

昨日カタコトを見ていたら はじの方へ

二十四本竹がさ とのつていた

葉の蛇の目がさへ

至地木^つ不^りエ又^す予^れ だかう 色^がなく^{なり}

こと^はない それも^二千^何ならず

すぐ^はでも^手にしたい

先^けなりかう^れへ行く^{こと}などない

まして^雨の中^{行く}わけ^{なり}

じつと^店舎^{を見る}

かさ^をまして^{行く}姿^を思^いろ^かへ^{なり}かう

あま^うめ^に

2022
5/1